

特集／完全攻略！新生児・乳児の皮膚マネジメントマニュアル

上記特集号に掲載のご論文、『新生児の血管腫・脈管奇形』（p.17-24）におきまして、下記の図説に誤りがございました。

読者および関係者の皆さまには深くお詫びし、ここに訂正いたします。

2022 年 5 月 株式会社 全日本病院出版会

p.22 図 5 図説

誤) 図 5. Klippel-Trenaunay 症候群

a: 日齢 6. 毛細血管奇形が両上肢, 前胸部, 右下肢にあり, 左上肢と左下肢の肥大が軽度みられた。

b: a の 1 歳時で, 全麻レーザー 2 回照射後, 紅斑は淡くなっているが, 左上肢の肥大はあり, 弾性着衣を着用している。

c: 日齢 2. 全身の広範囲に毛細血管奇形がみられ, 右下肢に既に肥大あり。

正) 図 5. Klippel-Trenaunay 症候群

超音波検査で低流速の貯留域, また造影 MRI T2 強調像で皮下に低流速の高信号域あり。

a: 日齢 6. 毛細血管奇形が両上肢, 前胸部, 右下肢にあり, 左上肢と左下肢の肥大が軽度みられた。

b: a の 1 歳時で, 全麻レーザー 2 回照射後, 紅斑は淡くなっているが, 左上肢の肥大はあり, 弾性着衣を着用している。

c: 日齢 2. 全身の広範囲に毛細血管奇形がみられ, 右下肢に既に肥大あり。

p.23 図 6 図説タイトル

誤) 図 6. 色素血管母斑症 II a 型

正) 図 6. 色素血管母斑症 II b 型